

ユズ産地育成に貢献

## 韓国政府から表彰

川崎の果汁製造「アスキー」

川崎町の柑橘果汁製

造・販売「アスキー」

(山崎順一郎社長)が、

韓国のユズ産地育成に

貢献したとして、韓国

農林水産食品部の長官

表彰を受けた。20年来

の民間レベルの交流が

評価された形で、同社

は「日韓友好の上から

も大変な名誉でうれし

い」と喜んでいる。

同社は92年創業。ユ

ズやカボス果実からぼ

ん酢やジュースの原料

となる果汁を生産し、

年商約10億円。初代社

長の星野宗広・現非常

勤役員(45)が創業後間

もなく韓国のユズ産地

を訪問した際、輸出を

持ちかけられたのがき

っかけだった。

星野さんは日本産の

古い品種を育てた韓国

産の深みのある風味に

着目。苗の育成法や現

地加工のアイデアを提

供し、消滅寸前まで衰

えていた産地を復興さ

せた。現在は韓国産ユ

ズの7割程度が同社に

納入され、同社の生産

ベースでも6割程度を

占めるといふ。

表彰式は22日、全羅

南道高興郡で開催。現

地の農協関係者から星

野さんに、韓国農林水

産食品部の張太平長官

名の感謝状が授与され

た。山崎社長とともに

取材に応じた星野さん

は「産地を育てる過程

で、現地には何万人も

の友人ができた。そう

した交流も評価されたのだと思う」と喜んでいる。【林田雅浩】



韓国政府から表彰された「アスキー」の星野取締役(右)と山崎社長